

2022 年8月2日開催
2023 年3月期第 1 四半期決算説明会での主な質疑応答

【国内事業について】

Q1 価格・規格改定効果は期初の見通しから変化はないか？

1Q の改定効果は 5.9 億円で、ほぼ計画通り。高い需要が続いており、価格改定前後で販売数量に変化はない。現時点では、年間 72 億円の改定効果の見通しに変更はない。

Q2 原材料コストアップの見通しについて教えて欲しい。

1Q の国内のコストアップ影響は 23 億円で、ほぼ計画通り。パーム油の単価が下がった一方で、円安は進行。原材料価格・動力費で年間 90 億円のコストアップ想定から大きな変化はない。

Q3 北海道産原料ばれいしょの収量の現時点での見通しは？

作付け、生育状況は今のところ問題なく、計画通りの収量を見込んでいる。今期は収量を増やす計画だが、天候に左右されるため、今後の状況について注視していく。

Q4 土産用製品の回復状況について教えて欲しい。

1Q の売上実績は 20.4 億円で、前年同期比＋9億円、計画比＋3億円。国内旅行需要に加え、催事・物産展での積極展開もあり、回復している。

【海外事業について】

Q5 北米の好調は持続するとみてよいか？

「Harvest Snaps」が好調。価格改定後も販売数量が伸びている。大手得意先や食品スーパー、昨年拡大したダラーストア業態、いずれも売上が伸長している。20%程度の値上げをしたが、Better for you カテゴリでは値ごろ感あり。美味しさも評価されている。2Q に2回目の値上げを実施予定。北米の好調が継続し、その他地域の未達分をカバーできると考えている。

Q6 中華圏の2Q 以降の見通しは？

1Q はロックダウンの影響で、ミューズリー等の一部製品展開が遅れた。2Q 以降はプロモーション展開を進め、売上拡大により収益改善を図る。シリアルは「フルグラ糖質オフ」やミューズリー、スナックは Baby & Kids の販売を強化したい。

Q7 海外のその他地域の価格改定状況は？

各国で既に主力製品の値上げを実施。英国は値上げ幅が大きい、販売数量は伸長。インドネシアはスナックのみ値上げをする計画だったが、競合の値上げに追随する形でポテトチップスも計画外で値上げを決めた。2回目の値上げも各国で順次進めていく。

以上